

第4回定例会（11月28日～12月15日）第3回臨時会（12月26日）

## 市民と議員の意見交換会を開催しました

牛久市議会では、市民に開かれた議会を目指し、市政の課題について市民と議員が意見を交換する場として意見交換会を開催しています。

今年度は11月8日に開催し、中央生涯学習センター24名、三日月橋生涯学習センター11名、奥野生涯学習センター5名の方にご参加いただきました。

## 三日月橋生涯学習センター



## 図書館のこと



## 通学路のこと



## かっぱ号のこと



## 中央生涯学習センター



## 公園のこと



## うしタクのこと



## 牛久シャトーのこと



## 防災のこと

## 奥野生涯学習センター



## 奥野地区のこと

## ライドシェアのこと

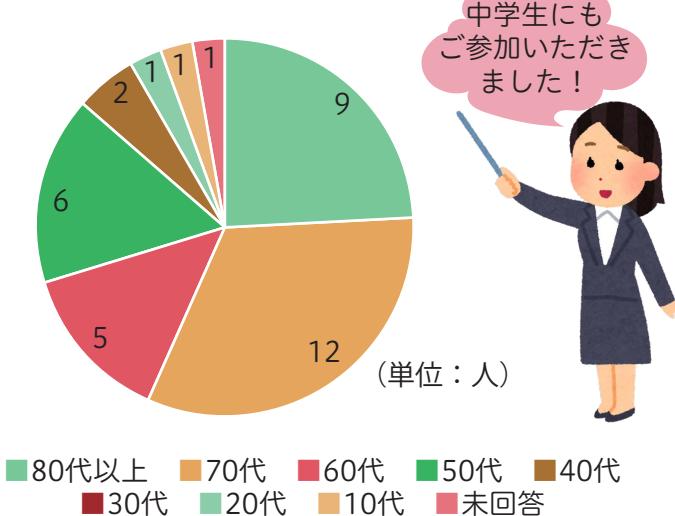
## 目次

P2～特集「意見交換会」 P4～13一般質問 P14議案の審議結果・臨時会より  
P15常任委員会審査報告 P16委員会視察報告

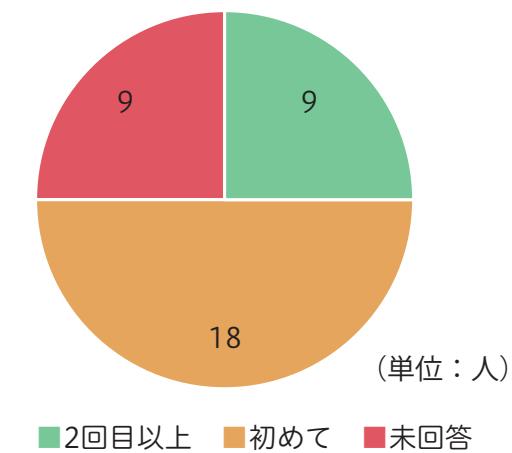


# 参加して良かった?アンケートの結果

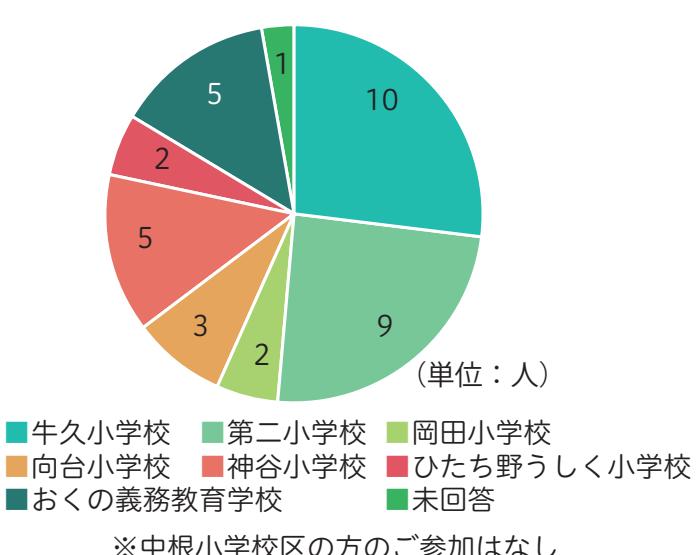
## 1. ご年齢



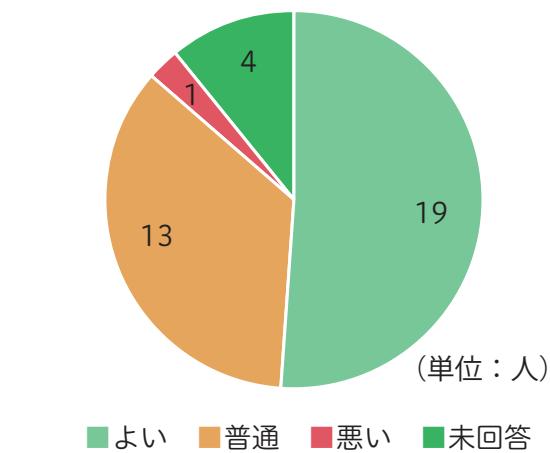
## 3. ご参加いただいた回数



## 2. お住まい (小学校区)



## 4. 意見交換会の内容



初めての参加でした。  
とても良かったです。  
参加する人が少なすぎます。  
参加者のいろいろな意見が  
聞けましたが、議員の意見が  
たくさん聞きたかったです。

一つの議題、  
一人の発言に  
時間を取り  
過ぎていきました。

もっと「話し合い」  
ができる場が  
あればと思います。

その他、意見交換会の実施方法について、「時間が短い」というご意見や「マイクを使用して欲しい」とのご意見を多くいただきました。来年度の意見交換会に皆様からいただいたご意見を反映させられるよう努めてまいります。

# 聞けてよかったです！言えてよかったです！82の声

## 公共交通 かっぱ号



- 本数が少なく使いにくい。本数を増やせば、利用者が増えるのでは。
- 反対周りをするルートが欲しい。
- 頻繁に利用している。今後利用者は増えると思うので、減便しないで欲しい。
- 奥野地区にかっぱ号を朝と夕方だけでも走らせられないか。稲敷エリア広域バスとの接続など整備を検討して欲しい。
- 奥野地区の運行経路の拡大を検討して欲しい。通院や買い物に使えるように、病院や大型スーパーの近くなどに停留所を作って欲しい。

## 公共交通 うしタク ライドシェア その他



### うしタク

- 運転手が不足していて予約が取りにくい。利用料金は他市に比べて高い。

### ライドシェア

- ライドシェアは市街化調整区域に限定しており、利用者が少ない。区域を広げて利用者を増やしてみてはどうか。
- ライドシェアよりかっぱ号の便数の増加やルートの追加をして欲しい。

### その他

- 「車がなくても過ごせるまち」を目指してはどうか。

## 道路の安全



- 通学路に歩道の設置を。

- 歩道の段差の解消を。

- カーブミラーの設置を。

- 道路のひび割れや陥没箇所の修繕を。

- 自転車専用道路の設置を。

- 道路の樹木や雑草の管理を。

## まちづくり

こんなものがあったらいいな…



- 酷暑により学校も含めて子どもが外で遊べないことが多くなった。パークや魅力的な公園など検討して欲しい。

- 喫茶店や談話コーナーなどが設置された、進化した図書館を作って欲しい。

- 牛久シャトーを人が集まって楽しい場所にするために、市民限定・シャトー使用限定でクーポンを発行するのはどうか。



- 牛久沼や筑波山を見ながら走れるサイクリングロードで地域の活性化を。

## 福祉・教育など



- 児童生徒のよりよい教育に繋げるために、教える側の非常勤講師の給料の見直しをして欲しい。

- 敬老の日のお祝いのギフトカードについて、郵送料も含めてもらいたいないので、他の事業に使って欲しい。

- 人工内耳の電池と充電池の補助について検討して欲しい。

掲載しているのは  
ご意見の一部です。  
その他いただいた  
ご意見は牛久市議  
会ホームページに  
掲載しています。

# 市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。  
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

石原 幸雄 議員

## ゴミ屋敷への対処は



うしタクの送迎先について

質問 うしタクの市外への送迎について、竜ヶ崎市の総合



答弁) 行政の介入が可能な条例制定も手法の一つ

質問 近年、本市を含む多くの自治体でゴミが野積みで放置され悪臭が発生する等、近隣住民が困惑しているゴミ屋敷が見受けられるが、住民から対処要請があつた場合、全国には不良な生活環境を解消する為との福祉的な側面から行政の介入を可能とする条例を制定している31の自治体がある。故に本市においてもゴミ屋敷への対処条例の制定を検討すべきと考えるがどうか。

答弁 (環境経済部次長) 条例制定も対処手法の一つと考えている。

質問 病院への送迎は可能であるが、阿見町の総合病院への送迎は不可能なので不便であるとの東部地域住民の声が多い。故にその不満の解消に努めるべきと考えるがどうか。

答弁 (経営企画部次長) 阿見町の総合病院への送迎の実施を前提に関係機関と協議を続ける。

質問 旧奥野小校舎跡地の利活用について

質問 東部地域住民から当該地に農産物の直売所等の設置を求める声が多いが如何か。

又、当該地に何等かの集客施設が設置された場合、当該地の直近を通過する竜ヶ崎阿見線バイパスの往来車両を当該地に呼び込む為の進入路の整備が不可欠と考えるがどうか。又、当該地に何等かの集客施設が設置された場合、当該地の直近を通過する竜ヶ崎阿見線バイパスの往来車両を当該地に呼び込む為の進入路の整備が不可欠と考えるがどうか。

答弁 (経営企画部長) 直売所等を含めて年度内を目途に活用策の方向性を示す。進入路は検討していく。

柳井 哲也 議員

## 何故不登校生を大削減できたのか



答弁) 毎日子どもの心理状態を把握し声かけした為

答弁 (教育長) 先生がクラスの全員と月に一回、一人5分程度、個別に話す機会をつくつていている。また一人一台端末を活用し、児童生徒の毎日の心の状態をお天気で入力して貢献するなど、不登校等の未然防止、早期発見に向けて、組

質問 市制施行40周年記念式典のイベントは

質問 功労者等の顕彰や記念誌の発行はどうか。

答弁 (市長) 40年を振り返る写真を市民の皆様から募集し、フォトコンテストを開催する。また観光協会のキャラクターである「かっぱのキューちゃん」を市の公式キャラクターとして、新たに小中高生からデザインを募集し、キャラクターをアップデートする、等の式典を来る6月に企画している。

質問

令和6年度の全国の不登校生は35万人と最多を記録しているが牛久市は令和4年度の230名をピークに3ヶ年で52名減少している。何故なのか。

質問 織のかつ積極的に支援している。更に昨年9月より児童生徒や保護者の悩みや不安を解消する目的で「かっぱコール」を開設すると共に、令和5年度に牛久市不登校保護者の会を立ち上げ、保護者同士が悩みを共有する機会を年2回実施している。これらが不登校生の減少につながったと考えている。



# 市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。  
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

## 旧奥野小学校の利活用の現状は



磯山 和男 議員



答弁) 次長級職員で部局横断により議論を重ねている

質問 令和7年度中に方向を決めるとされているが。

答弁 (経営企画部長) 民間事業者の意向、これまでの地域からの意見、更に都市計画法上の制約等を踏まえ検討し、改めて地域の意見も伺い、令和7年度中に方向性を定める。

要配慮者（障がい者及び支援を要する高齢者等）の災害時の避難

質問 福祉避難所の運営の仕方と訓練の状況は。

答弁 (市長) 運営は、保健福祉部及び社会福祉協議会の担当職員を配置し、ケアマネージャーや保健師等の協力も得る。訓練は、福祉避難所運営ガイドラインを状況に合う運営マニュアルへと見直し、避難所従事職員による開設訓練ができるよう進める。

質問 避難行動能力向上のために行っていることは。

答弁 (市民部次長) 市では、避難行動要支援者名簿を作成



新たな活動の場を持つ旧奥野小学校



池辺 己実夫 議員



## 牛久シャトーの再生に向けた取り組みは

答弁 (市民部次長) 市では、避難行動要支援者名簿を作成

牛久シャトーの再生計画

質問 牛久市文化観光公園牛久シャトーの設置及び管理に関する条例制定と指定管理者制度導入の目的は。

答弁 (環境経済部次長) 条例を制定することにより、牛久シャトーを「市の施設」として位置づけ、管理運営することになる。これにより、施設の管理・運営にかかる枠組みが制度として明確になり、市の責任と役割が整理されることで、安定的な牛久シャトーの運営が可能になると認識している。

質問 牛久シャトー㈱の再生に向けた取り組みは。

答弁 (環境経済部次長) 民間他社の活力を活用するため、来年以降に牛久シャトー㈱のパートナー企業を公募予定である。今後は、未来創造課や観光協会との連携を強化し、牛久シャトーを活用した観光

牛久都市開発(株)による償還計画の見直し

質問 償還計画の見直しに至った経緯は。

答弁 (環境経済部長) エスカーデ牛久ビル4階が長期にわたり空き床となっていることから、当初想定の賃料を得られない状況が続いている。

質問 償還計画の見直しに至った経緯は。

答弁 (環境経済部次長) エスカーデ牛久ビル4階が長期にわたり空き床となっていることから、当初想定の賃料を得られない状況が続いている。

質問 今後の計画的償還のためのテナント誘致策は。

答弁 (市長) 「特定中心市街地事業所開設等補助金制度」により、3階に㈱スタートラ

インの進出が決定した。この成功事例を活かし、多様なニーズに対応した誘致活動など、空き床解消に向けて全力で取り組んでいく。



## 親子特区!!うしくの方向性を伺う

藤田 尚美 議員



質問 親子特区!!うしくを発信することに至った経緯は。

答弁 (市長公室長) 市ならではの強みを親子とひもづけし親子施策が充実した新たな独自性を打ち出し、子育て世帯を中心とした移住、定住を促す新たなブランドティングをスタートした。



答弁) 親子が共に育ちあえるまちを目指していく

## 外国籍児童生徒への支援

質問 日本語指導が必要な児童生徒への支援の取り組みと課題は。

答弁 (教育部長) 市内小中学校及び義務教育学校における児童生徒は110名が在籍。

日本語指導が必要な子どもへの支援は、牛久第二小学校に日本語指導教室が設置され、日本語学習に加えて教科学習の支援をしている。

それ以外の学校についてはS

Aや通訳サポートが支援をしている。10月からは訪問型家庭教育支援事業として支援員を学校に派遣し支援体制を構築。課題は人的支援を行う

人材の不足。

質問 外国籍児童生徒の家庭への支援は。

答弁 今年度は、学習面のみならず、生活面に関する情報も伝えていくための「暮らしの相談会」を実施。

## 外国籍の子どもへの日本語指導は

山本 伸子 議員



質問 外国籍の児童生徒への日本語指導の状況は。

答弁 (教育委員会次長) 日本語指導教室がある牛久第二小学校では担当教員が日本語学習・教科学習を行い、その他の学校ではスクールアシスタントや通訳サポートが支援

に入っているが、十分に日本語の指導が行き届いているとは言えない。

語の指導が行き届いているとは言えない。

小学生では基礎的な日本語の習得、中学生では学習言葉が不足していると言われている。国際交流協会で行つ

てている日本語教室や放課後

かっぱ塾などで日本語指導は

できないか。

答弁 (市民部次長) 國際交流協会の日本語ボランティア講

師は成人を対象としており、放課後かっぱ塾は児童生徒の自主的な学びの場で指導員は補

答弁) 指導が十分に行き届いているとは言えない



国際交流協会の日本語教室では、マンツーマンで指導を行っている

助として見守りを行っている状況だ。

今後、教育委員会と市長部局を含めた協議の場や学校運営協議会などで支援ができないか検討していく。

## 障がい者との共生社会とは

質問 障がいのある人が生活するグループホームの現状は。

答弁 (保健福祉部長) 市内には43か所あり、住まいの場として世話人や生活支援員が支援を行っている。

質問 利用者と地域との関係づくりに「地域連携推進会議」の役割は重要だがどのような状況か。

答弁 地域の関係者や利用者、福祉関係者、市職員が施設の見学や運営状況などを通して意見交換をする場として現在6事業者で開催されている。

利用者が地域でよりよい生活を送るためにも、会議の開催をすべての事業者に働きかけていく。

# 市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。  
一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。

## 甲斐 徳之助 議員 物価高騰に対する本市の対策は？



## 黒木 のぶ子 議員 消防署庁舎の仮設建設について



質問 消防庁舎の老朽化と手狭との理由から、仮設庁舎を中央生涯学習センターと駐車場の間の緑地帯に建てると説明を受けたが、決定しているのか。



答弁 事業者のなじみが薄く進んでいない。

### 公用車の入札

質問 多くの市民より相談が多い本市の物価高騰対策は。重点支援交付金を含めた活用の施策メニューは。至急、補正予算を組み臨時議会を開き対応するか。

答弁 (市長) 検討している。額が決まり次第至急行う。

質問 交付金に上積み予算を組み全市民に行き渡る事業を行なうか。

答弁 検討している。

質問 交付金の活用に商品券などの選択をした場合、以前から提案している電子化の活用が、スピード感があり良いと思うが、その後の進捗状況は。

質問 新古車や中古車など又は同等品等の対応は。

答弁 行わない。

質問 車検やメンテナンス等も入札を行っているか

質問 最低制限価格の設定を注している。

質問 今はいい。国より動向調査の指示はあった。

質問 予定価格はどう決めているか。

質問 (総務部次長) 額に応じて数社見積をとっている。

質問 積算に参加している事業者が落札できない事実を把握しているか。またその原因は。

質問 把握していない。仕入れの違いでは。

質問 積算に参加している事業者が落札できない事実を把握しているか。またその原因は。

質問 建設予定場所は病院の目の前、また生涯学習センター駐車場に隣接することから、病院や駐車場利用者への配慮を建設する計画である。

答弁 仮設の消防庁舎を建て、現在の牛久消防署の場所に新しい消防施設を建設する計画である。

質問 建設予定場所は病院の目の前、また生涯学習センター駐車場に隣接することから、病院や駐車場利用者への配慮を建設する計画である。

質問 消防車や救急車は赤色灯を回し、サイレンを鳴らすことで緊急車両とみなされる。予定地近くの介護施設からは、サイレン等について配慮してほしいとの依頼も受けており、稻広本部には、可能な限り配慮をお願いしていく。

質問 仮設庁舎の利用期間は約3年であるが、現時点で予算額は5億1600万円、加えて上下水道工事費や造成費が加算されるとのことである。

質問 消防庁舎の老朽化と手狭との理由から、仮設庁舎を中央生涯学習センターと駐車場の間の緑地帯に建てると説明を受けたが、決定しているのか。

質問 条件に合致する候補地の4か所は市街化調整区域だった。市街化区域に限らず検討を行った。

質問 8年度予算に計上しないとのことだが、建設資材や人件費が高騰する中で、仮設庁舎建設に付随する工事も含め、先送りとなれば予定予算以上の中額となると考える。しかも仮設庁舎建設に起債はできないとのことだが、想定される補助金や交付金はあるのか。

質問 仮設庁舎であるので起債は難しく、活用できるものを積極的に検討する。

# 小学校の給食無償化はどうなるか

高嶋 基樹 議員



質問 国は小学校給食費の無

差額の920円は市の負担と

償化を令和8年度からの実現  
を目標に検討しているが、現  
在の内容で進んだ場合、本市  
への影響と対応策はどうか。

答弁) 完全無償化できるように検討していく



学校給食「和食の日」に合わせ  
「うしく河童大根生産者と食育  
に関する総合授業」の風景

(掲載以外の質問事項)  
○親子特区うしく・音響設備  
のアップデートについて



答弁 (教育委員会次長) 現状

一人当たりの給食費月額は  
4320円。実際の給食材料  
費は、この給食費だけでは賄  
えず月額5620円かかって  
いる。この差額分1300円  
を物価高騰分として市が負担  
している。平成26年4月に現  
在の給食費の額に値上げして  
からこれまで、保護者の経済

的負担を軽減するため、給食  
費との差額は市が負担してい  
る。仮に、報道されているよ  
うに国の補助が一人当たり月  
額4700円となつた場合、

質問 結果的に市の負担は輕  
減されるのか。

答弁 はい。今年度の物価高  
騰分として市の支出は約  
5300万円。国の補助によ  
り市の負担は約1000万円  
減る計算であり、今までより  
も負担は軽減される見込みで  
ある。

国の制度設計については未確  
定であるが、市の重点プロジェ  
クトのひとつである「子育て  
全力応援プロジェクト」の中  
で学校給食費の無償化の拡充  
について推進していくことと  
しており、仮に全額国費での  
実施とならなかつた場合でも、  
小学生の給食費については完  
全無償化できるように検討し  
ていく。

質問 共働き家庭の増加や地  
域の高齢化が進む中で、従来  
の保護者・地域による見守り

体制だけでは限界が来ている  
と考える。見守りによる安全  
確保が、家庭や地域の努力だ  
けに任されている現状は望ま  
しいとは言えない。本市にお  
ける登下校の安全対策の現状  
を伺う。

答弁 (教育部長)

地域の温かい支えにより、交通安全意識  
の向上など良い効果も確認して  
いる。一方で、地域によつ  
ては保護者から、少子化の影  
響で登校班の維持が困難にな  
なっていることや地域住民の  
多くが高齢者で、登下校時間  
帯に外出して見守ることが難  
しいケースなど、今後の見守  
り活動に不安を抱える意見も  
把握している。課題は、各学  
校の学校運営協議会等を通じ、  
引き続き協議を重ねたいと考  
えている。

答弁

安全確保を支える有効な手段の一つと認識している。  
併用が安全性の向上につなが  
ると考えるが、ICTとの組  
み合わせによる登下校の安全  
確保を伺う。

答弁

安全確保を支える有効な手段の一つと認識している。  
併用が安全性の向上につなが  
ると考えるが、ICTとの組  
み合わせによる登下校の安全  
確保を伺う。

質問 検討するべきではないか。

答弁 市民の意見や各校の状  
況を見極め、慎重に調査研究  
していく。

# 登下校に安全指導員を配置する考えは 水梨 伸晃 議員



答弁) 見守り活動者不足への解決策として調査する



質問 他市の制度を参考に、  
牛久市でも市主導で安全指導  
員等を配置する仕組み作りを

考  
え  
て  
い  
る。



## ICT教育の推進は

1人1台端末が整備され  
たが、家庭にWi-Fi環境  
がなければ宿題や自主学習が  
できないと思うがどうか。

質問 全体の99%の家庭が  
Wi-Fi環境整備済み。家庭  
での環境整備をお願いする通  
知を送付した。







# 市政に対する一般質問

## 若者のライフステージの援助。環境向上策は？ 大森 和夫 議員

答弁) 調査検討していく



### 若者支援策について

質問 就労・定住支援策の向上は。

答弁 (環境経済部長) 県の事業PRを拡大拡散する。

質問 婚活支援お見合いパーティ、結婚相談については。

答弁 (市民部次長) 県の事業PRを拡大支援拡散する。

質問 若者・新婚家庭家賃・購入・引越費補助が県と県内の取り組みは。

答弁 (経営企画部次長) 効果を検討していく。

質問 麻酔の無痛分娩費用補助が取手市と大子町で始まったが牛久市の予定は。

答弁 (保健福祉部子ども局) 調査研究をしていく。

答弁 調査研究していく。

### 環境施策について

質問 ソーラーパネル・蓄電池普及支援策の状況は他市町村より遅れているが。

答弁 (環境経済部次長) 蓄電池補助のみ。調査継続する。

答弁 (市民サポート) 公用車の環境対策と市民サポート

質問 雨水タンク・ゴミ処理器の現況支援策は。

答弁 (市長) ごみ処理機累計7417基助成した。継続していく。

質問 公用車の現況と環境配慮型の状況・リース契約の導入は。

答弁 (総務部次長) 公用車拡大等の向上に繋げていく。

質問 経営改善の方向性で年間2千万円の利益確保に対する市の考えは。

答弁 (市長) 民間活力等を積極的に取り入れ、収益モデルの構築を目指す。年間2千万円の目標は「達成できるかどうか」ではなく再生に向けた重要なミッションだ。

質問 指定管理者制度導入により牛久シャトー株と市の契約は。市負担の施設維持管理と植栽管理の想定は。

答弁 (環境経済部次長) 指定管理者に指定されれば契約は解除に。維持管理は経費の算出等により適切な管理料を決定する。

質問 ワイン醸造に必要な支援とは。

答弁 ワイン醸造は日本遺産の象徴的な要素の一つで、シャトー自ら取り組むことが必要。又、市の再生計画に向けた支援では、ワインのPR、販路拡大等の向上に繋げていく。

質問 経営改善の方向性で年間2千万円の利益確保に対する市の考えは。

答弁 (市長) 民間活力等を積極的に取り入れ、収益モデルの構築を目指す。年間2千万円の目標は「達成できるかどうか」ではなく再生に向けた重要なミッションだ。

質問 燃料価格の高騰から運行規程を見直し、実費相当分の負担をお願いした。今後、利用距離等を含め検証していく。

答弁 (総務部長) 燃料価格の高騰から運行規程を見直し、実費相当分の負担をお願いした。今後、利用距離等を含め検証していく。

質問 住井すゑ文学館の開館日と時間変更の経緯は。

答弁 (環境経済部次長) 営利目的の施設ではないが維持管理費が増加。週4日の開館で持続可能な運営が可能。

### 牛久シャトーに対する市の方向性は

遠藤 憲子 議員

答弁) 再生に向けて収益モデルの構築を目指す

質問 市バス使用時に燃料代



質問 指定管理者制度導入により牛久シャトー株と市の契約は。市負担の施設維持管理と植栽管理の想定は。

答弁 (環境経済部次長) 指定管理者に指定されれば契約は解除に。維持管理は経費の算出等により適切な管理料を決定する。

質問 ワイン醸造に必要な支援とは。

答弁 ワイン醸造は日本遺産の象徴的な要素の一つで、シャトー自ら取り組むことが必要。又、市の再生計画に向けた支援では、ワインのPR、販路拡大等の向上に繋げていく。

質問 経営改善の方向性で年間2千万円の利益確保に対する市の考えは。

答弁 (市長) 民間活力等を積極的に取り入れ、収益モデルの構築を目指す。年間2千万円の目標は「達成できるかどうか」ではなく再生に向けた重要なミッションだ。

質問 燃料価格の高騰から運行規程を見直し、実費相当分の負担をお願いした。今後、利用距離等を含め検証していく。

答弁 (総務部長) 燃料価格の高騰から運行規程を見直し、実費相当分の負担をお願いした。今後、利用距離等を含め検証していく。

質問 住井すゑ文学館の開館日と時間変更の経緯は。

答弁 (環境経済部次長) 営利目的の施設ではないが維持管理費が増加。週4日の開館で持続可能な運営が可能。

質問 住井すゑ文学館の開館日と時間変更の経緯は。

答弁 (環境経済部次長) 営利目的の施設ではないが維持管理費が増加。週4日の開館で持続可能な運営が可能。

### 市民サービスの充実について

質問 市バス使用時に燃料代

## 議案の審議結果

凡例: ○…賛成、×…反対  
小松崎 伸 議長(政和クラブ)は採決には加わっておりません

### 賛成全員で可決または認定等された議案等

議案番号	議案等名
【第4回定例会】	
70号	牛久市職員の旅費に関する条例について
72号	牛久市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
73号	牛久市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例について
75号	牛久市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
78号	牛久市下水道条例の一部を改正する条例について
80号	令和7年度牛久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
81号	令和7年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
82号	令和7年度牛久市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
83号	令和7年度牛久市下水道事業会計補正予算(第3号)
84号	損害賠償の額を定めることについて
85号	指定管理者の指定について
議員提出 議案第2号	牛久市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
【第3回臨時会】	
86号	牛久市学校給食費条例の一部を改正する条例について
87号	令和7年度牛久市一般会計補正予算(第7号)

### 会派構成

市民クラブ	政和クラブ	公明党	日本共産党	日本維新の会	うしく未来プロジェクト	無会派
黒木 のぶ子	小松崎 伸	藤田 尚美	遠藤 恵子	伊藤 裕一	山本 伸子	無会派(磯山)
須藤 京子	石原 幸雄	鈴木 勝利	大森 和夫	水梨 伸晃	池辺 己実夫	無会派(甲斐)
杉森 弘之	高嶋 基樹	伊藤 知子		柳井 哲也	磯山 德之助	無会派(山本)
出澤 大					加藤 和男	無会派(池辺)

### 賛否が分かれた議案等

議案番号	議案等名	市民クラブ	政和クラブ	公明党	日本維新の会	日本共産党	うしく未来プロジェクト	無会派(磯山)	無会派(甲斐)	無会派(山本)	無会派(池辺)	議決結果	
議案69号	牛久市文化観光公園牛久シャトーの設置及び管理に関する条例について	黒木 のぶ子 須藤 京子 杉森 弘之 出澤 大	小松崎 伸 石原 幸雄 高嶋 基樹	藤田 尚美 鈴木 勝利 伊藤 知子	遠藤 恵子 大森 和夫	伊藤 裕一 水梨 伸晃	柳井 哲也	山本 伸子 池辺 己実夫 甲斐 徳之助 磯山 加藤	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	可決
議案71号	牛久市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について											可決	
議案74号	牛久市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について											可決	
議案76号	牛久市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について											可決	
議案77号	牛久市乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について											可決	
議案79号	令和7年度牛久市一般会計補正予算(第6号)											可決	
意見書 案第15号	ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書の提出について											可決	
意見書 案第16号	介護保険制度の抜本的改善及び介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について											可決	

## 第3回臨時会より

### 小学校給食を無償化

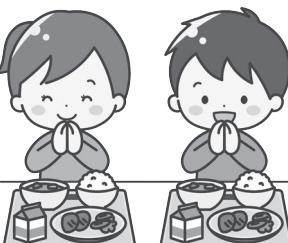
国の交付金を活用し、令和8年1月から令和8年3月分までの学校給食費を無償とする。

#### 対象者

市立小学校及び市立義務教育学校前期課程の児童(3945人)

#### 支援単価

児童一人当たり  
月額4320円



### 子どもたちの健やかな成長のため 応援手当を支給

0歳から高校3年生までの児童手当支給対象児童(平成19年4月2日から令和8年3月31日までに出生した児童)

#### 支給単価

子ども一人当たり  
2万円

#### (その他)

物価高騰の影響を受けた介護施設・障害者福祉施設・医療機関・民間保育園・民間幼稚園・民間児童クラブ・認定農業者等の事業者に対し、補助金を交付する。

#### 討論より

■商品券の配布について、利用店舗が商工会の加盟事業者に限定することについては、公平性や市民の利便性の観点から懸念が残るため柔軟な改善を求める。しかし、補正予算全体の緊急性と、総合的な市民の利益を考慮し賛成する。

■重点支援交付金を活用した本市独自の物価高騰対策に関連した内容が取りまとめられており、各議案を可決成立させ、いち早い物価高騰対策に取り組む必要があると考え、賛成する。

## 総務企画常任委員会

介護保険制度について、保障される社会の実現を目指し、財政支援の強化を

牛久市職員の給与について、国の人事院勧告に準じて、給料月額を3.3%、期末勤勉手当の支給月数を4.65%引き上げる改正

問 改正により前年度と比較していく  
ら増額になるのか。

答 概算で1億2千万円の増額となる。内訳は給料が7300万円、職員手当が4100万円、共済費が580万円である。

## 教育福祉常任委員会

ひきこもりのすべての世代を対象に全国どこでも必要な支援が受けられるように、必要な施策や支援体制の明文化を

### 意見書案第15号

や長期化が進む中、現行の法整備では支援対象者が限定的となつており支援を受けることができないケースが生じていることから、国に対して必要な施策や支援体制の明文化を要望するもの。

生じている」とから一部改正を行つるもの。

### 主な改正点

#### ◆適用範囲を10kW以上に引き下げ

発電出力50kW、事業区域1000平方メートルのいずれかに該当するものだったものを、土地の面積に関わらず10kW以上のものは適用となる。

#### ◆抑制区域の拡大

自然災害の発生が危惧される区域、住宅地や学校の周辺、自然環境の保全地域など、設置抑制区域を拡大し明文化。抑制区域に設置事業を行わないよう「協力を求めるもの」から「自らするよう要請することができる」になる。

#### ◆説明会の義務化

説明会を義務化することに加え、説明する地域住民の範囲についても、事業区域概ね100mから300mに拡大する。

議員提出議案の詳しい内容は、ホー

### 目的

牛久市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

## 環境建設常任委員会



## 環境建設常任委員会

### 議員提出議案

牛久市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

令和7年度一般会計補正予算

賃貸金元利収入△1890万円  
償還計画の見直しによる減額

条例施行から1年が経過し、令和6年4月には再生エネ特措法が改正され、説明会の義務化など内容に差異が

貸付を行つた4億円の償還について、償還計画の見直しを行い、本年度の償還額を減額する。見直し内容は、償還期間を15年間から17年間に2年間延長し、令和7年度から10年度までの4年間の元金償還額を1400万円とする。

### 討論より

■計画的に返済するという条件で(※)附帯決議をつけて議会で承認された経緯があるにもかかわらず、非常識的な経営指標を希望的観測で述べており、償還期間を2年繰り延べたとしても返済は難しいと考えることから反対である。

#### (※)「平成30年度牛久市一般会計補正予算(第4号)」に対する附帯決議

4億円の貸付に際して、市民の貴重な税金を貸し付けることを踏まえ、貸付金の回収を確実にするために、担保や利子等を明記した貸付要綱を策定し、市議会に提示することや、牛久都市開発株の決算報告書を毎年市議会に開示することを求めている。

### 委員会採決の結果

(委員長を除く委員9人)  
賛成7人・反対2人

牛久市の課題

牛久市も一人暮らしの高齢者が増加している。安心して最期を迎えることができるよう市としてどのような支援ができるのか。

横須賀市の取り組み

身寄りのない低所得者の方が葬儀社と生前契約を結び、本人の信教に沿った葬儀・納骨をもらうことができる「エンディングサポート事業」と、大切な終活情報を市に登録してもらい、万が一の時に必要な情報を相手先に教える「わたしの終活登録事業」がある。



牛久市の課題  
昭和49年に建築された市役所庁舎は、専門家による調査でも劣化が指摘されており、今後の庁舎の在り方について検討が必要となっている。

焼津市の取り組み

建設事業費は、約106億円で財源内訳は、庁舎建設基金約28億円、起債77億円、一般財源81万円。起債は合併推進債で事業費に対し充当率90%、元利償還額の40%が交付税措置される有利なものを活用。高校生を含む市民委員によりワークショップを開催し、市民の意見を取り入れた使いやすい庁舎を実現した。

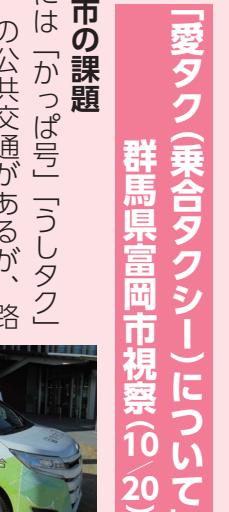


牛久市の課題

牛久クリーンセンターは1999年度より稼働。2019年に15年の延命工事を行っている。国は安定的で効率的なごみ処理体制の構築を推進、県は施設の集約化例を示している。老朽化している施設を単独で更新するのか、または広域化するのか、判断が必要になる。

伊豆市の取り組み

2市による広域化を実施。施設の維持管理の経費の削減、運転管理面での効率化が図られているが、集約化による2市のごみ処理手数料の差異やごみ搬入中継施設整備の必要性などの課題がある。



牛久市の課題  
牛久市には「かっぱ号」「うしタク」「ライドシェア」の公共交通があるが、路線や時間、使い勝手など市民から多くの意見がある。ニーズと現状の乖離をどう解消していくのか。

富岡市の取り組み

デマンド型タクシー。運賃は、市内在住、在学・在勤者は1乗車100円。7人乗りミニバンで平日は6台、土日祝日は4台で365日運行。主要な公共交通、スーパー、医療機関など463か所の乗降場所がある。電話、LINE、スマホから予約。スマホ予約に移行してもらうため、高齢者向けに無料スマホ教室を開催。



今定例会に先立つ11月14日、議員全員協議会が開催され、執行部より市出資法人の今後の方針が示されました。その内、耕作放棄地の解消を目的に設立された牛久グリーンファームに関する今後の諸情勢から判断しても黒字化が見込めないので、一年後を目途に農業部門から撤退しBDF製造のみの会社として存続させたいとの説明がなされました。一方、令和6年のデータによれば市内の1170haの畠の内、289haが耕作放棄地であり、グリーンファームはその内の26haを借り受け耕作して来た訳であります。同社の農業部門からの撤退により当該26haの農地を含めて牛久市の今後の耕作放棄地の解消法を如何に確立するのかが大きな課題となることから、市議会としても注視して参りたいと考えています。(石原)

広報常任委員会  
委員長 水梨 伸晃  
副委員長 伊藤 知子  
委員 石原 幸雄  
塚原 大森 和夫  
出澤 正彦  
政之 大加藤